

Security Platform

守るだけじゃない。-物理セキュリティ-

株式会社セキュア（証券コード：4264）

Anna

- Age : 28
- Job : Full Time
- Sex : Woman

↓ 35.5" | ❤️ 65 | 57%

Jessica

- Age : 26
- Job : Full Time
- Sex : Woman

R1

90%

Note ✓

SECURE

Financial results for the fiscal year ending December 2023

2023年12月期第1四半期決算説明資料

May 12, 2023

FY2023 Q1進捗

売上高

1,462百万円

前年同期比
+80.2%

進捗率*
+33.2%

営業利益

152百万円

前年同期比
+5.7倍

進捗率*
+117.0%

*進捗率は5月12日発表の修正後予想に対する進捗率

- ✓ リプレイス案件や期末の需要が想定を上回り **第1四半期決算は会社計画対比上振れ**
- ✓ 上期見通しに **基づき通期業績を上方修正**。先行投資と景気の不透明感を踏まえ **下期は据え置き**
- ✓ 前期に取り組んだ大型案件へのシフトの結果SECURE AC (入退室管理システム) の案件単価が向上
- ✓ セールス・マーケ人員の採用は新卒を含め2023年4月段階で14人と **計画対比順調**
- ✓ 大宮オフィスと横浜オフィスの2拠点を開設。引き続き **採用とともに拠点拡大を継続**
- ✓ AI STORE 事業ではAiFi社との業務提携など **パートナーとの取り組みを拡大**
SECURE AI STORE LAB2.0を新規開発、AIによるレジレス・無人店舗を実現
(6月1日オープン予定)

FY2023の見込み

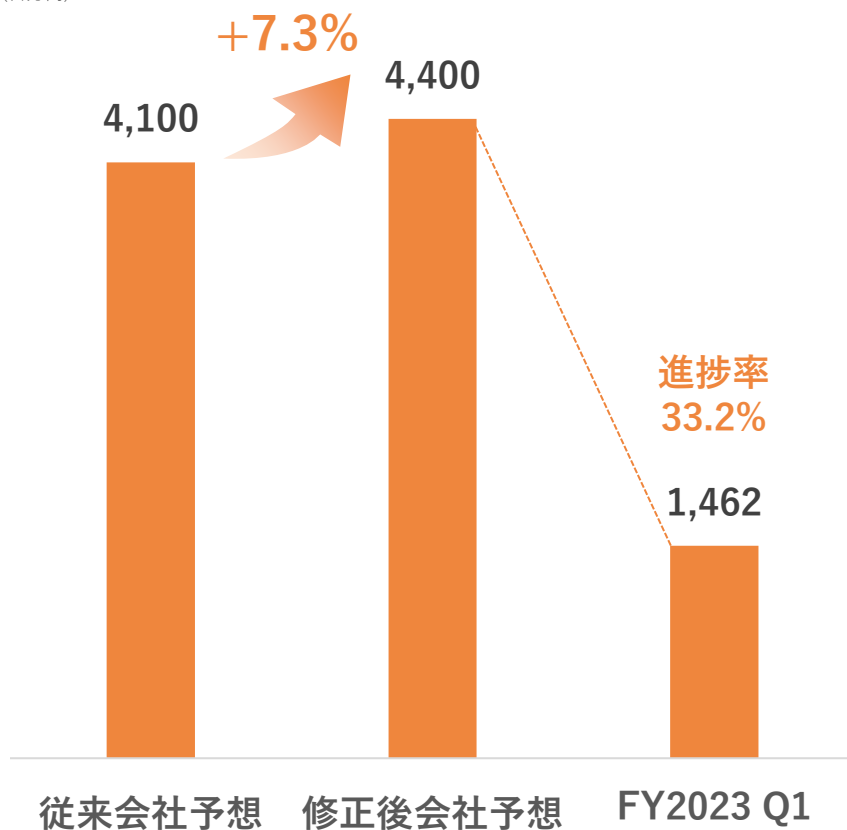
- ✓ 半導体等の影響による期ズレは2022年度でほぼ解消。 **年率30%の売上成長を見込む**
(年率21%→30%へ上方修正)
- ✓ 利益は更なる売上成長実現のための **先行投資を実施しつつ黒字化を計画**
- ✓ FY2022に採用した営業人員は1~1.5年程度での戦力化を想定 **FY2023下期頃から本格貢献を期待**

上期上方修正について

Q1の状況を踏まえて業績予想を上方修正、上期の上振れ分を従来予想に上積み
下期に関しては景気の不透明感もあり状況の変化等は見込んでおらず、据え置き
一方で下期には採用やR&D、マーケティング等への先行投資は強化

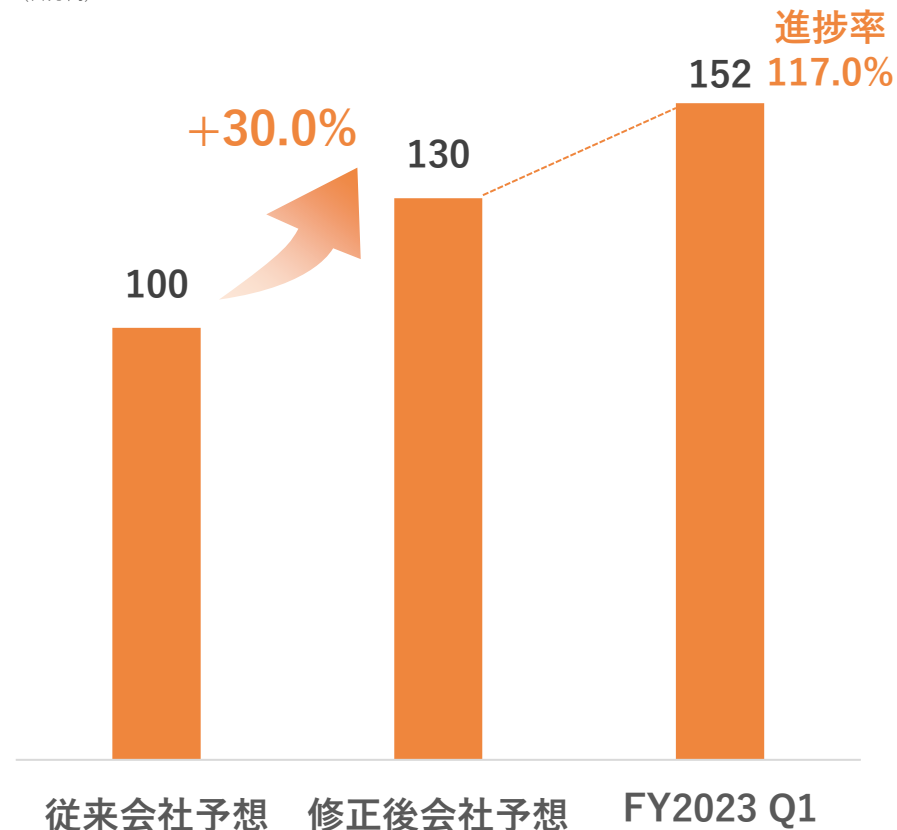
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



Q1売上高は前年同期比+80%の成長

半導体不足等による期ズレの影響はほぼ解消、年度末の駆け込み需要も想定より多く増収
販管費は計画通り投資を実行し、営業利益は152百万円の黒字着地で営業利益率は10%を達成

(百万円)	FY2022	FY2023	FY2023	前年同期比 (FY22-23比較)		業績予想 達成率
	Q1実績	修正後業績予想*	Q1実績	増減額	増減率	
売上高	811	4,400	1,462	+650	+80.2%	33.2%
SECURE AC (入退室管理システム)	304	1,250	499	+195	+64.3%	40.0%
SECURE VS (監視カメラシステム)	471	3,000	910	+439	+93.1%	30.4%
SECURE analytics (画像解析サービス) / その他	36	150	52	+16	+45.5%	35.0%
売上総利益	361	-	573	+212	+58.8%	-
販売管理費	334	-	421	+86	+25.9%	-
営業利益	26	130	152	+125	+5.7倍	117.0%
営業利益率 (%)	3.3%	3.0%	10.4%	+7.1pt	-	-
経常利益	25	120	150	+125	+6.0倍	125.4%
税引前当期純利益	25	-	150	+125	+6.0倍	-
当期純利益	21	95	126	+105	+6.0倍	132.9%

*修正後業績予想は2023年5月12日発表

2023年12月期第1四半期全体売上・売上総利益

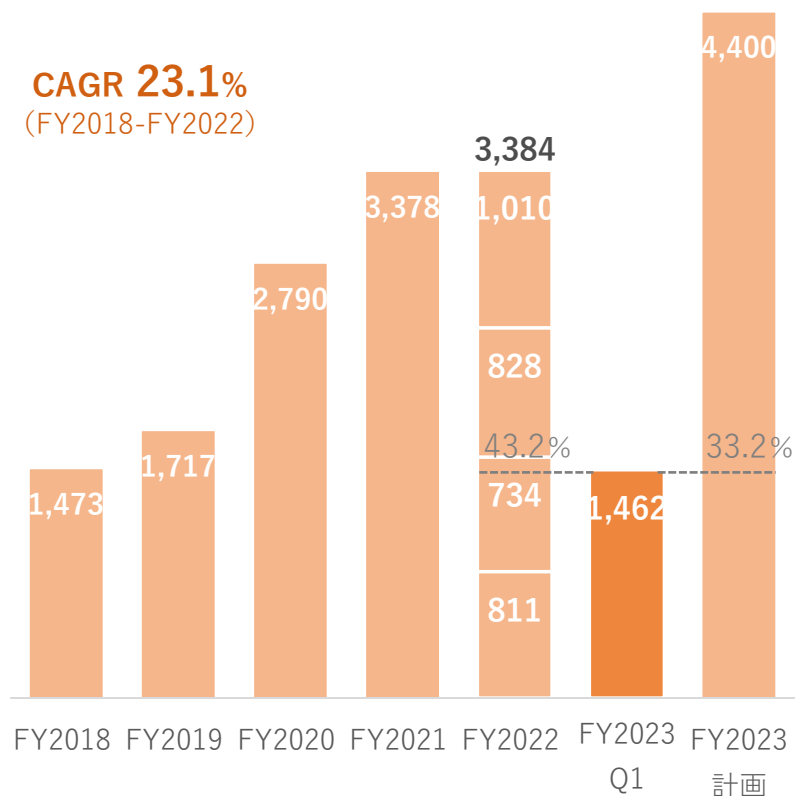
Q1売上高は大型・中小型の案件がともに好調で前年同期比で増収。**通期計画進捗率は33%を達成**

データセンターや大学、物流施設への領域の拡大も順調に進捗

1月に開設した大宮・横浜拠点も想定より受注が好調、売上総利益率は39%水準を維持

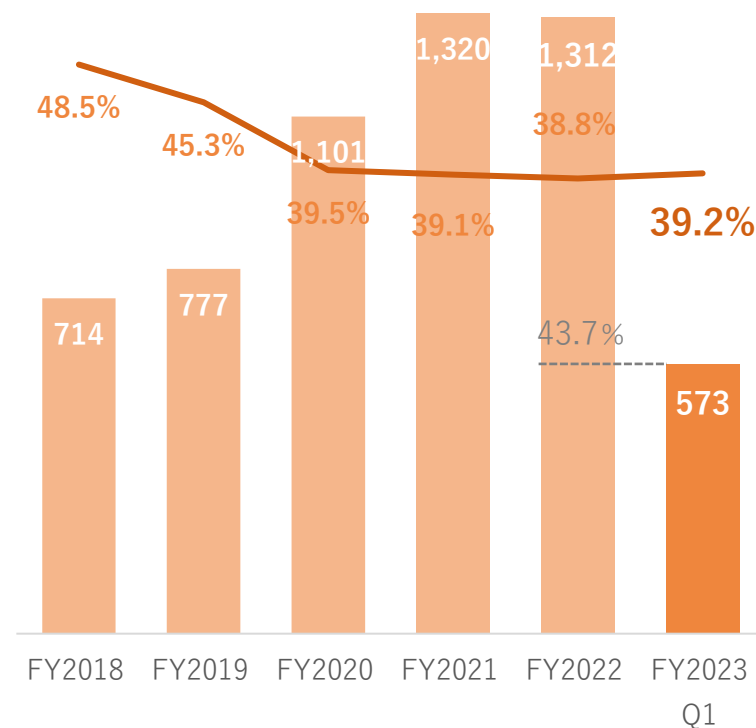
売上高

(百万円)



売上総利益・総利益率

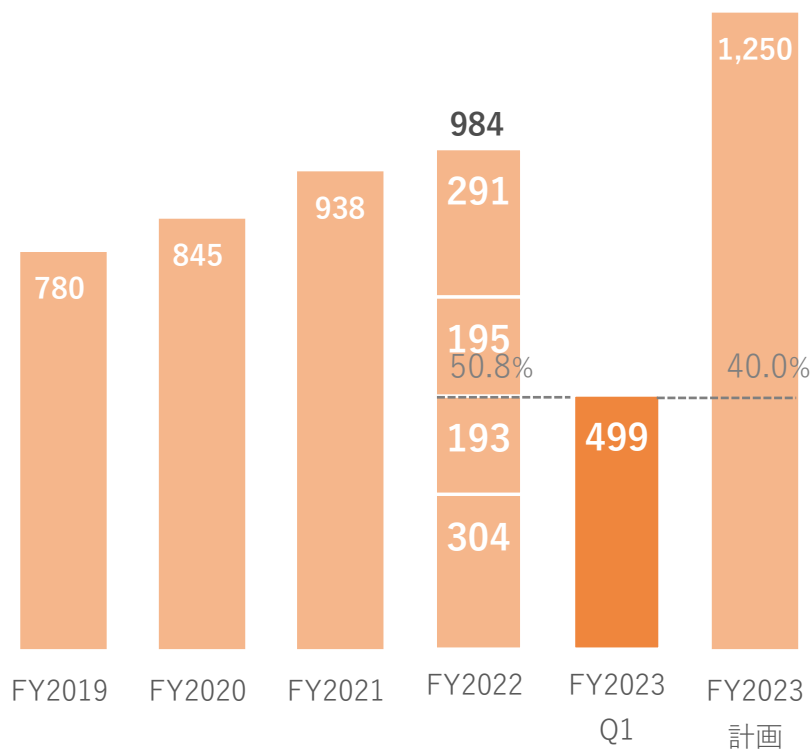
(百万円・%)



小規模から中・大型案件へのシフトが成功し、前年同期比で増収を達成
 顔認証の導入数も前年同期比+22%、案件単価は中・大型案件の影響により大幅に上昇
 Q2は中・大型案件の検収タイミングの影響で案件単価は従来水準に戻る見通し

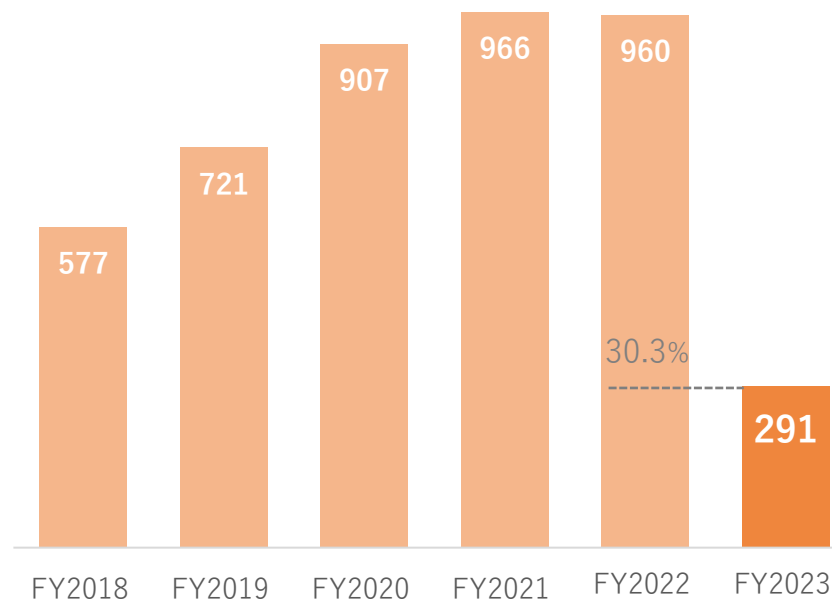
売上高

(百万円)



SECURE AC 導入件数

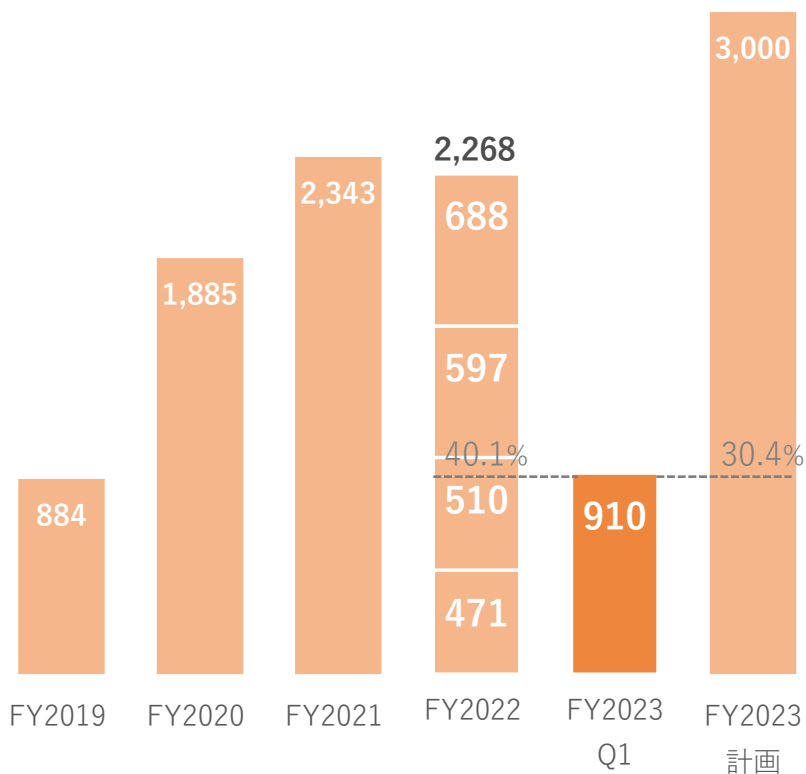
(件)



中小型案件が引き続き好調に推移し、売上高・導入件数ともに前年同期比で増収・増加
 大型案件は需要調整の影響が解消、リプレイスが好調に推移し回復、店舗への導入も好調
 引き続き昨対比での成長を目指す、Q2に向けては季節性によりQ1より減少の見込み

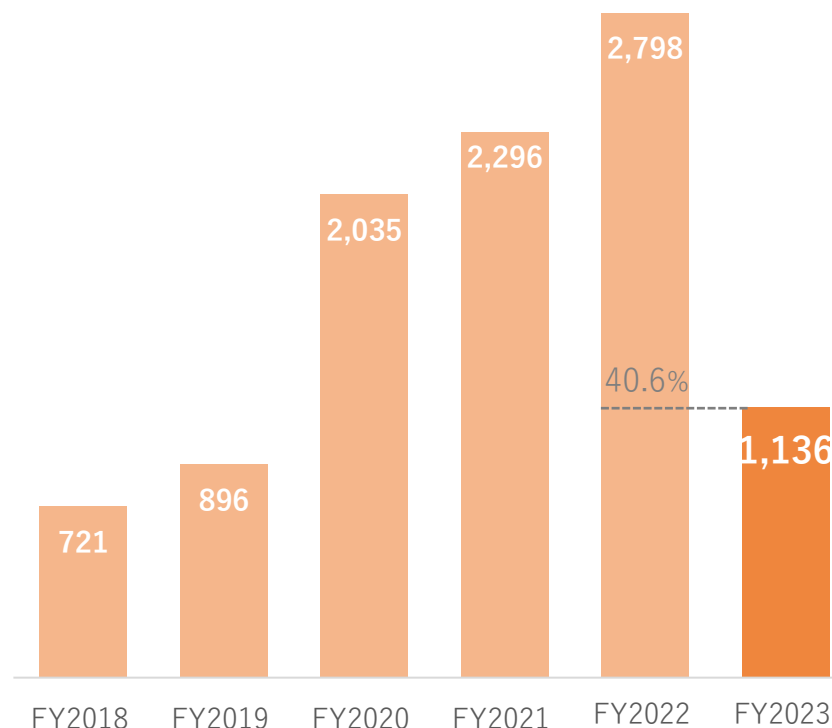
売上高

(百万円)



SECURE VS 導入件数

(件)



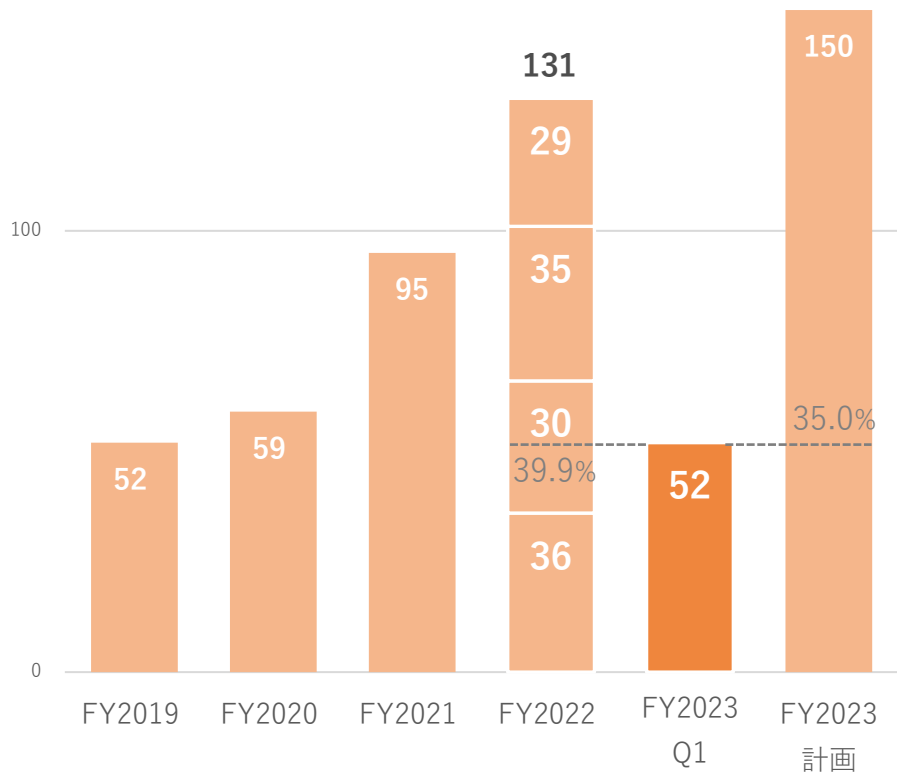
「SECURE Analytics/その他」業績推移

売上高は前期比増収、計画を上回って着地

ショッピングモールにて、出入口毎の通行人数を計測し売上データと連携してマーケティングに活用

SECURE Analytics / その他 売上高

(百万円)



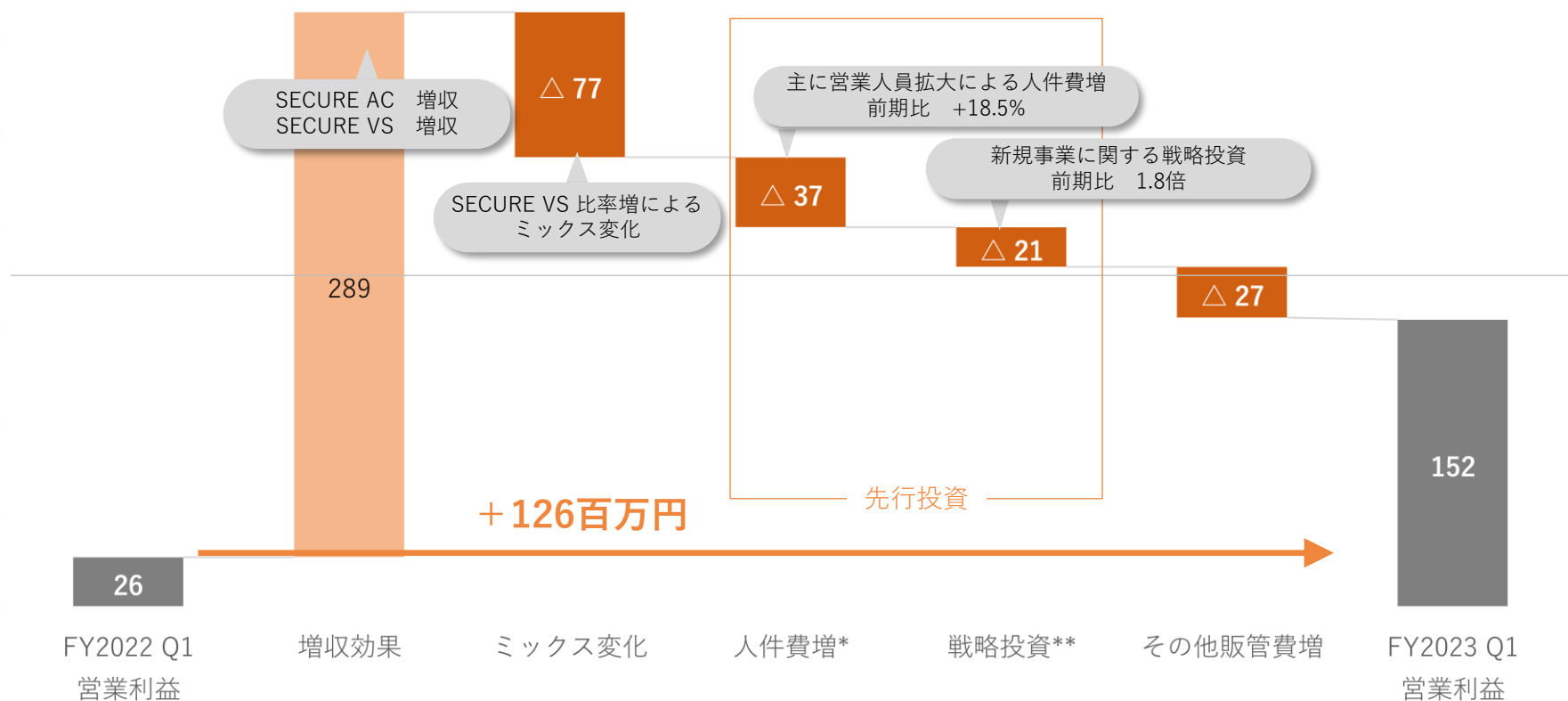
SECURE Analytics 導入事例



ショッピングモールにて出入口毎の通行人数を計測
売上データと連携してマーケティングに活用

営業利益増減要因分析

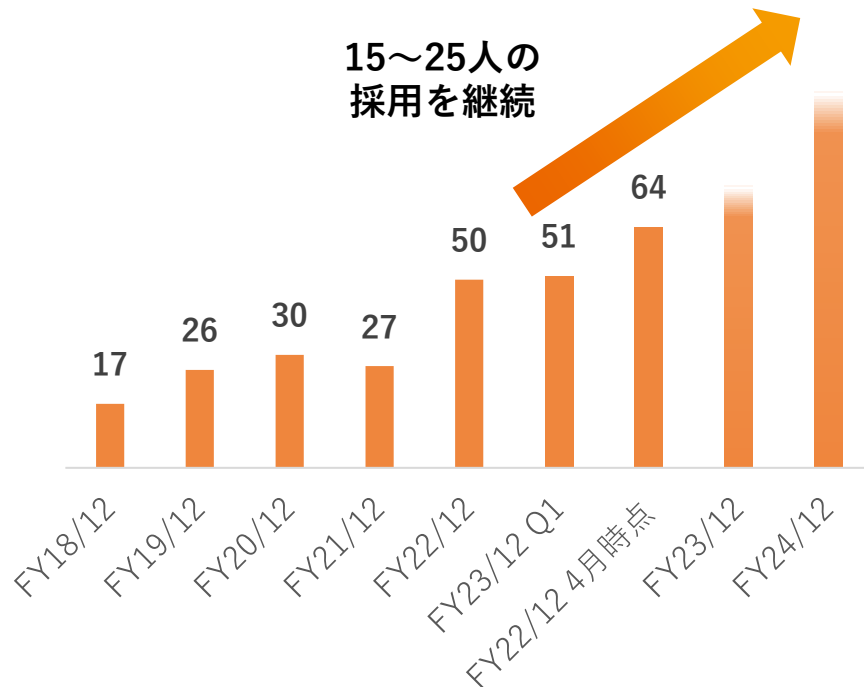
ACとVSともに増収であったが、**VS比率増によるミックス変化により売上総利益が低下**
成長に向けた「人件費」と「戦略投資」の先行投資はおおむね計画通り実施



*人件費 = 給与・賞与・法定福利費等 / **戦略費 = 広告宣伝費・研究開発費等

Q1での採用人数は2人だが4月時点では新卒採用を含め前年末比で14人の増員。計画対比で順調
1月に大宮、横浜オフィスを開設。引き続き拠点拡大を通じた成長に取り組む

セールス・マーケティング人員数推移



営業人員の成熟化までは約1~1.5年
先んじて採用を行い、業績拡大に繋げる

拠点拡大



- 22年7月名古屋オフィス開設
- 23年1月大宮・横浜オフィス開設
- ※23年4月広島オフィス開設

基盤強化



- マーケティング活動の強化
- Security System Labにおける独自の教育制度
- 採用力の強化

事業の進捗状況(2/3) AI STORE LABにおける進捗

SECURE

2022年にSTEP 1としての実証実験を終え、本格的なリテールDXの展開に向け各社との協業・業務提携を発表。**リテールテックJAPAN2023にも出展し好評**を受ける

2022年



第1回の実証実験は終了
技術やビジネス上の課題を改善

2023年～



LINE株式会社が提供する
コミュニケーションアプリ「LINE」上で
動作する顔認証機能付き
「デジタル会員証」を開発

顔認証技術、画像処理カメラやセンサー、
デジタルサイネージが搭載された
「AI商品棚」

「SECURE Marketplace」構想^(※)の実現に向け
第2回実証実験を三菱地所株式会社の「常盤橋タワー」にて実施予定



業務提携を通して様々な新しい機能・ソリューションの提供を加速
(次頁へ)

(※)リテール業界の人材不足と施設の空きスペースの有効活用さらには消費者の多様化した買い物のニーズに対応した、施設の空きスペースを活用し消費者とブランドを繋ぐ新たなプラットフォームサービス

本格的なリテールDXの展開に向け**各社との協業・業務提携を発表**

SECURE AI STORE LAB2.0を新規開発、AIによるレジレス・無人店舗を実現（6月1日オープン予定）

リテールDXに関する直近の業務提携

2023年2月16日



レジレス無人店舗のサービス提供において
世界No.1の実績を持つAiFi社と業務提携

共同で無人店舗ソリューションの開発に取り組み、
日本の小売市場に最適化された
無人店舗ソリューションの提供を目指す

2023年2月22日



AIソリューション事業を手掛ける
株式会社ヘッドウォータースとの協業強化

大手リテール企業向けにAIを活用した
店舗DXの高度化や全国展開を支援する
ソリューションサービスの共同提供に取り組む

リテールテックJAPAN2023への出展



▲セキュアブースの様子



▲AiFi社の無人店舗ソリューションの参考展示



▲セキュアによるAI商品棚の参考展示

上期の計画上振れを反映し、業績予想を上方修正

景気等のリスクや更なる先行投資の可能性を踏まえ下期については据え置き

来期以降に向けて、採用やR&D、マーケティング等への先行投資は積極的に行っていく想定

(百万円)	FY2022	FY2023	FY2023業績予想			修正後対前期比
	実績	Q1実績	修正前*	修正後**	修正額	増減率
売上高	3,384	1,462	4,100	4,400	+300	+30.0%
SECURE AC (入退室管理システム)	984	499	1,200	1,250	+50	+27.0%
SECURE VS (監視カメラシステム)	2,268	910	2,750	3,000	+250	+32.3%
SECURE analytics (画像解析サービス/その他)	131	52	150	150	-	+14.0%
営業利益	△169	152	100	130	+30	-
営業利益率 (%)	-	10.4%	2.4%	3.0%	+0.6pt	-
経常利益	△183	150	90	120	+30	-
税引前当期純利益	△197	150	-	-	-	-
当期純利益	△227	126	70	95	+25	-

*修正前業績予想は2023年2月14に発表 / **修正後業績予想は2023年5月12日に発表

3つの成長戦略

① 既存ビジネス

パートナーの深堀・発掘

+

AI強化・SaaS強化

↓
継続成長
収益力UP

② Retail DX

AI STORE LAB
収益化

↓
新たな収益

SECURE

③ 海外展開

韓国・ASEAN
への展開

↓
市場の拡大

既存のセキュリティソリューション事業で基盤を固め、**SaaS型ソリューションやAI技術を活用した新規ビジネスで成長を加速**させ、安心安全でスマートな社会の実現を目指す。

方針

更なるAIの実装力を強化し
企業価値の最大を図る

2022~2023年

AI STORE 事業



③ 海外展開

新規事業

② スマートビルディング

② スマートシティ

② AI STORE

① 既存サービスの拡大

事業基盤構築

AI実装を強化したサービスによる拡大

新規事業・海外展開での拡大